

第 1 回市民会議以降の策定に向けた取組状況について

1 庁内の検討状況

- ・徳島市総合計画 2021（素案）の策定
- ・重点事業の設定
- ・徳島市総合計画 2021（案）の検討 など

2 市民からの意見聴取状況

①第 1 回徳島市まちづくり総合ビジョン策定市民会議

開催日	令和 2 年 1 1 月 5 日
聴取内容	基本構想に対する意見、今後の施策(取組)の方向性 など
参加者	市長、委員 18 人

○主な意見

- ・SNS など様々な手段で徳島市に関わっている人たちが世界中にいる。市外の人に徳島市のことを好きになってもらうという方法があると思う。
- ・徳島市の魅力を子どものころから感じられるよう、徳島市に魅力を感じる、誇りに思える、夢を描ける教育を推進してもらいたい。
- ・徳島は生活習慣病及びそれに関連する死亡が多い。原因として、太っている方が多いこととたばこがあげられる。
- ・子どもも大人も防災訓練に参加し、地域やコミュニティで取り組むべきではないか。
- ・コロナ禍で農業も大きな打撃を受けている。徳島市でも農産物の PR をお願いしたい。また農業の抱える一番の課題は高齢化による就農者の減少であると思う。

○主な計画への反映事項

- ・基本構想「政策 8 まちのにぎわいと人の流れを創出するまちづくり」
→「関係人口」
- ・実施計画「施策 2：学校教育の充実」
→「郷土を愛し、未来社会に夢を描ける児童生徒の育成を目指す」
- ・実施計画「施策 5：健康づくりの推進」
→「乳幼児期からの肥満による生活習慣病」や「COPD」の予防
- ・実施計画「施策 17：防災・減災対策の強化」
→「市民総合防災訓練（児童・生徒と地域が一体となって協同で取り組む防災訓練）」
- ・実施計画「施策 29：農林水産業の振興」
→「農産物の PR」、「新規就農者や担い手への支援」

②パブリックコメントの実施

実施期間	令和2年12月16日～令和3年1月15日
聴取内容	徳島市総合計画2021（素案）
参加者	55人、73件

【主な意見】

- ・若者の意見を取り入れることによって若者の市への関心が高まり、自分の町の現状を再確認することができる。こうすることで若者の市に対する愛着、もしくはこだわりができ、若者の人口流出を防ぐことができるのではないかな。
- ・普段生活していて交通ルールが守れていない車や人が多いと感じる。交通マナーに関する市としての取組も必要ではないかと思う。
- ・スポーツをする環境が整っていないため、スポーツができる公園を作ってはどうか。
- ・新型コロナウイルス感染症の国内の感染拡大が収まる所に照準を合わせ、県外の方が徳島を訪れたいくなるよう今から着実な戦略を練っていくことが大切だ。
- ・県の主要な地域にも関わらず、自然がすぐそばにあるという特徴がある。このストロングポイントを生かすことが市の発展につながる。

3 策定スケジュール（予定）

令和2年	11月	第1回市民会議の開催
	12月	徳島市総合計画2021（素案）を議会報告
	12月～1月	パブリックコメントの実施
令和3年	1月	第2回市民会議の開催
	1月～2月	※パブコメ・第2回市民会議等を受け、計画案を磨き上げる
	3月	徳島市総合計画2021（最終案）を議会報告
	〃	徳島市総合計画2021の策定